

令和5年度 シラバス

教科	公民	科目	公共	単位数	2	履修学年	1	学科・コース	普通科・理数科																				
教科書	詳述公共（実教出版）		副教材等	・ズームアップ公共資料（実教出版）・詳述公共演習ノート（実教出版）			担当者	西川																					
1. 科目の目標			2. 学習の進め方や留意点			3. 評価の観点と函中コンピテンシー																							
人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、現代社会と人間についての理解を深め、公共の基本的な問題について主体的に考察し、公正に判断するとともに人間としての在り方、生き方について考察する力を養い、公民として必要な能力と態度を育てる。 各人が主体的に生きる公民としてのあり方を模索し、諸問題に対して関心を高め、自ら問題解決を試みる思考力・態度を養い、積極的に実践しうる力を身につける。			・教科書で基本的な内容を理解し、資料集などで社会問題の具体例を考察しながら問題意識を高め、現代社会の諸課題について自分なりの意見を表明できるようにする。 ・内容の確認、定着のための小テストを単元、授業内容の区切りごとに実施する。 ・授業内容に関連した時事問題について考察し、自分なりの考え、意見をまとめるワークシートを活用する。 ・授業内容に関連した諸課題について討議を進め意見を発表するとともに、他の生徒のさまざまな意見を取り入れながら、一つの課題について多様な考えを持てるようにしたい。 ・日頃から時事問題についての関心を高めておくこと。			<table><tr><td></td><td>知識・技能</td><td>思考・判断・表現</td><td>主体的に学習に取り組む態度</td></tr><tr><td>傾聴力</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>思考力</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>先見力</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr></table>					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	傾聴力	○		○	思考力	○	○	○	協働力		○	○	先見力	○	○	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度																										
傾聴力	○		○																										
思考力	○	○	○																										
協働力		○	○																										
先見力	○	○																											

4. 学習計画と評価規準

月	単元・学習内容	時間	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4・5	第1編 公共の扉 第1章 社会を作る私たち 人間とは何か 第2章 人間としてよく生きる 幸福とは何か 第3章 民主社会の原理 社会とは何か 第4章 民主国家における基本原理 1 人権保障の発展と民主政治の成立 2 国民主権と民主政治の発展	7	・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 ・現代の諸課題について自らも他者と共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、考え方を活用することを通して、行為者自身の人間としての在り方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることについて理解している。	・公共的な空間と人間との関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性と共通性などに着目して、社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 ・幸福、正義、公正などに着目して、公共的な空間における基本原理について、具体的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。	・授業内容に対して高い関心と意欲を持って主体的に学習に取り組もうとしている。 ・公共的な空間を作ること、公共的な空間における人間としての在り方生き方、公共的な空間における基本原理について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
5・6・7	第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち 第1章 日本国憲法の基本的性格 1 日本国憲法の成立 2 平和主義とわが国の安全 3 基本的人権の保障 4 人権の広がり	9	・人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本原理について理解して		
	【前期中間考査】	1 【17】	【評価方法】 前期中間考査・小テスト	【評価方法】 前期中間考査・ワークシート	【評価方法】 小テスト・振り返りシート・ワークシート
8・9	第2章 日本の政治機構と政治参加 1 政治機構と国民生活 2 人権保障と裁判所 3 地方自治 4 選挙と政党 5 政治参加と世論	7	・法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義に関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・幸福、正義、公正などに着目して、主として法に関わる事項について、法、政治及び経済などの側面に関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。	・授業内容に対して高い関心と意欲を持って主体的に学習に取り組もうとしている。 ・現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
	【前期期末考査】	1 【25】	【評価方法】 前期期末考査・小テスト	【評価方法】 前期期末考査・ワークシート	【評価方法】 小テスト・振り返りシート・ワークシート

9・10・11	第3章 現代の経済社会 1 経済社会の形成と変容 2 市場のしくみ 3 現代の企業 4 経済成長と景気変動 5 金融機関の働き 6 政府の役割と財政・租税 第4章 経済活動のあり方と国民福祉 1 日本経済の歩みと近年の課題 2 中小企業と農業 3 公害防止と環境保全 4 消費者問題 5 労働問題と雇用 6 社会保障	11	・職業選択、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働き、経済のグローバル化と相互依存関係の深まり(国際社会における貧困や格差の問題を含む)や消費者問題などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・経済システムについての特徴と問題点を明確にしながら、具体的な主題設定に対して、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 ・少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、多様な働き方・生き方を可能にする社会、終身雇用制や年功序列制などの制度の変化と非正規社員の増加、外国人労働者にかかわる問題、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）などについて、多面的・多角的に考察し、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明することができる。 ・消費者に関する問題について、「契約」に関する基本的な考え方について理解を深め、契約により生ずる様々な責任について考察し、消費者の権利の尊重と消費者の自立支援について自分なりの考えを表現することができる。	・授業内容に対して高い関心と意欲を持って主体的に学習に取り組もうとしている。 ・現代社会の諸課題について、問題意識を高め、課題解決への考察に積極的に取り組もうとしている。
	【後期中間考査】	1 【37】	【評価方法】 後期中間考査・小テスト	【評価方法】 後期中間考査・ワークシート	【評価方法】 小テスト・振り返りシート・ワークシート
12・1	第5章 国際政治の動向と課題 1 国際社会における政治と法 2 国家安全保障と国際連合 3 冷戦終結後の国際政治 4 軍備競争と軍備縮小	8	・国際社会の変遷、人権、国家主権、領土（領海、領空を含む。）などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 ・貿易の現状と意義、為替相場の変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 ・現代の国際政治・経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取っている。	・個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ・個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、相互依存関係が深まる国際経済の特質について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、国際経済において果たすことが求められる日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	・授業内容に対して高い関心と意欲を持って主体的に学習に取り組もうとしている。 ・現代の国際政治・経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。
2・3	5 異なる人種・民族との共存 6 国際平和と日本 第6章 国際経済の動向と課題 1 国際経済のしくみ 2 国際経済体制の変化 3 経済のグローバル化と金融危機 4 地域経済統合と新興国 5 ODAと経済協力	8			
	【学年末考査】	1 【54】	【評価方法】 学年末考査・小テスト	【評価方法】 学年末考査・ワークシート	【評価方法】 小テスト・振り返りシート・ワークシート
	合計	54			